

Formula No.55

Catalinbread Formula No.55は、“5E3”ツイードデラックスサウンドにインスパイアされた、次世代のオーバードライブペダルです。クラシックな5E3アンプのプリアンプセクションを緻密に再現しています。オリジナルプリアンプの回路をオールディスクリートJFETベースのシグナルパスで置き換え、本物のツイードアンプがもつレスポンスを実現するため、ボリュームとトーンコントロールはオリジナル回路を元に制作されています。アウトプットインピーダンスを低くし、パンチのあるトーンでアンプをドライブさせることができます。Hi/Loスイッチによりヴィンテージツイードのクリーンなレスポンスから、真空管をハイゲインモデルに交換したようなホットロッドなトーンを切り替えることができます。Formula No.55は5E3プリアンプに大きなパワーセクションを接続したようなレスポンスを与えました。これはまるでキャビネットサイズをアップさせたような効果があります。小さなアンプのキャラクターを持ちながら、大きなアンプのレスポンスを実現したのです。Formula No.55に真空管は入っていません。最も真空管に近いダイナミックレスポンスと倍音成分を持つJFETを使用しています。グラント・グリーンからクレイジー・ホースまで、可能な限り幅広く5E3のトーンを作ることを目的として作られているため、スモーキーからフルボディまでのダイナミックレスポンスを持ち、ギターのボリュームはピッキングで自在に歪みをコントロールできます。このサウンドを実現するため、様々なパーツをテストしました。カーボンコンポジション抵抗や選別されたキャパシタなど、全てがサウンドのために選ばれたパーツを使用しています。プレミアムパーツも含まれますが、プレミアムパーツを使用したから音が良いのではなく、適切にパーツを選択したから音が良いのです。

クイックスタート

まず、ギターとアンプの間にFormula No.55だけを接続してみましょう。Formula No.55が持つレスポンスがどうということかというのが感覚的にわかるはずですが、Formula No.55の感覚が理解できたら、ペダルボードの設置位置の検討に入ります。ここでは、その最初の感覚を掴むための設定をご案内します。まず、アンプはできるだけニュートラルでクリーンなトーンに設定します。例えばFスタイルのコンポアンプなら、ボリューム2〜3、トレブル6、ベース3、ミッド6あたりです。

それでは、まずFormula No.55をLOモード（グリーンLED）、PRESENCE、TONE、VOLUMEを12時に、MASTERを10時あたりに設定してみましょう。（音量が大きすぎたり小さすぎる場合は適宜調整します。）この状態でしばらく弾いていると、特有のマイルドでクリアなオーバードライブが聞こえてきます。（ピックアップの出力が低めの場合は少しVOLUMEを上げてみてください。）そして、ギターのVolumeコントロールを下げたクリーンなトーンを作ってみましょう。ここでPRESENCE、TONEコントロールを動かして、EQの特性と影響を確認します。そしてお好みの位置にセットしたら、VOLUMEを最大まで上げてみましょう。好きなコード、好きなリフを弾いてローエンドの質感を確認します。オープンコードを鳴らして音の分離感を確認したら、バームミュートでローエンドがフォーカスされる様子を確認します。そしてギターを鳴らして音の分離感を確認したら、バームミュートでローエンドがフォーカスされる様子を確認します。そしてギターを鳴らして音の分離感を確認したら、バームミュートでローエンドがフォーカスされる様子を確認します。そしてギターを鳴らして音の分離感を確認したら、バームミュートでローエンドがフォーカスされる様子を確認します。

続いて、HIモード（レッドLED）に切り替えてみましょう。そして、VOLUMEを9時あたりに設定します。そして弦を強く弾いたり弱く弾いたりしてみましょう。続いてVOLUMEを12時あたりに設定し、アタックとダイナミックな特性を確認してみましょう。VOLUMEを好きな位置に設定し、好きに弾いてみましょう。そのままギターのVolumeを下げれば、ツイードのクリーンが手に入ります。そろそろいい時間です、Formula No.55を理解できた頃ではないでしょうか。

パワーサプライ

Formula No.55は、一般的なエフェクター用のパワーサプライや、9V電池で動作します。センターマイナスの9VDC〜18VDCアダプタに対応し、特に18Vで駆動させればより高いヴォリューム、ヘッドルーム、そしてパーカッシブなアタックが得られます。9Vで駆動させると、歪みやすくやわらかい音となります。50Wアンプと100Wアンプの違いのように使うことができます。18V駆動は、明らかに違います。特にバンドでプレイする際には最適で、アタックと音の明瞭さがアンサンブルで効果を発揮します。また、3〜4V程度、残量が減った9V電池を使うと、あまり大きな音が出せない深夜のジャムセッションなどに最適なソフトなサウンドが得られます。もちろん、電圧調整のできるパワーサプライを使っても同様の効果が得られます。電圧を落とすと、少しプリティッシュで小音量なサウンドにもなります。電圧をいろいろ変えて、お好みの音を見つけてみてください。

アンプ

一般論として、Formula No.55はクリーンに設定したチューブアンプで最高のパフォーマンスを発揮すると言えます。しかし、設計時の予想とは異なり、Formula No.55は歪んだチューブアンプでも素晴らしい結果を残したのです。チューブアンプにおいて、Formula No.55で最高のトーンとレスポンスを作るために、アンプのチューブの状態が悪くないかを確認してください。特にアンプ側のプリアンプの1stステージはFormula No.55にとって非常に重要で、このチューブの状態が悪くないと、Formula No.55は弱く、ザラっとした微妙な音になってしまう場合があります。

Formula No.55

Controls

| | |
|---------|---|
| PRESNCE | 5kHzレンジのトップエンドを調整します。 |
| MASTER | 全体の音量を調整します。 |
| TONE | 実際のデラックスアンプに近いサウンドを作ります。VOLUMEコントロールとTONEコントロールは密接に関わります。VOLUMEを最大にすると、TONEの影響は少なくなります。VOLUMEを下げるとTONE12時付近でフラットなレスポンスとなり、反時計回りでスモーキーなジャズクリーン、時計回りでよりグラッシーなアッパーミッドレンジのトーンとなります。 |
| VOLUME | ゲインコントロールです。HI/LOスイッチと組み合わせて最大ゲインを設定します。ギターのVolumeを下げればすぐにゲインを下げるができます。 |
| HI/LO | ゲインモードを切り替えます。HI (レッドLED) ではホットロッドな12AX7プリアンプトーンとなります。ピックがそのスロットルです。アタックの強弱でゲインをコントロールできます。LO (グリーンLED) では、ローゲインな12AY7のトーンです。ファットでジューシーなハーモニックレスポンスを持ったローゲインサウンドです。 |

ペダルボードでの使い方

Formula No.55は、様々な他のペダルと同時に使うことを想定して設計されています。非常にフラットなレスポンスで、周波数に余計な凹凸はありません。

Formula No.55は、以下のルールに則って作られています。

- ・ギターのヴォリュームでクリーンやクランチを作ることができること。
- ・実際のアンプ同様、ペダルの前にオーバードライブやブースター、ファズなどを置いて使うことで、ペダルをクランクアップできること。
- ・ギターのダイナミクスやタッチセンシティブを犠牲にすることなく、ヴォリュームコントロールができること。
- ・アンプのオーバードライブチャンネルに接続して、より良いクランチが得られること。

即ち、Formula No.55は実際のアンプのように使うことができるので、それを踏まえた上でボードを組んでいただければ、より良いサウンドが得られます。ファズやオーバードライブ、ブーストのような歪み系ペダルはFormula No.55の前に、リバーブはFormula No.55の後に、ディレイやモジュレーションペダルは前後どちらに置いてもいい効果となります。必要な音を探すため、様々な組み合わせを試してみてください。

一般的に、ディレイやモジュレーションペダルをFormula No.55の前に設置すると、若干音にコンプレッションがかかることもあります。これらは、アンプのエフェクトループのように、Formula No.55の後に設置することで、よりクリアなエフェクト効果が得られるようになります。

Formula No.55は、クリーンブーストやトレブルブースト、ファズ、オクターブアップ/オクターブダウンペダル、TSやKLONEなどのオーバードライブ、ワウペダルなどを前段に設置してブーストすると良い結果となりやすい特性があります。

スペック

- ・トウルーバイパススイッチング
- ・インプットインピーダンス: 1M
- ・アウトプットインピーダンス: 15k
- ・DC9-18Vセンターマイナスアダプター、または9V電池で駆動
- ・サイズ(WxDxH): 67 x 112 x 52mm (突起含む)
- ・重量: 230g

※筐体の一部に無塗装部分がございます。
無塗装部分にはケースが製造される際の傷や色合いの違いがある場合がございますが、あえてそのまま使われています。

正規輸入代理店

Quanta Intl.

サポートはこちら
<https://quanta-intl.jp/support/>



catalinbread
MECHANISMS OF MUSIC

WARRANTY POLICY

この度はCatalinbread製品をお買い上げいただきまして
まことにありがとうございました。

本品は厳密な製品検査に合格したものです。

御使用中に故障した場合は下記保証規定に従い修理・調整致します。

- 1 - 本保証書の有効期限はお買い上げ日より1年間です。
 - 2 - 本保証書は日本国内のみ有効です。
 - 3 - 保証期間内でも次の場合の修理は有償となります。
 - a. 消耗品(電池、真空管、パーツ等)の劣化による交換。
 - b. 保証期間が満了しているパーツが原因による故障。
 - c. お取扱い方法が不適当なために生じた故障。
 - d. お買い上げ後の運搬、落下や加重等による損傷、故障。
 - e. 天災(火災、浸水、地震、落雷等)による故障・破損。
 - f. 発電機の使用による故障。
 - g. 故障・破損の原因が本製品以外の機器にある。
 - h. メンテナンス不足による故障。
 - i. 指定外の者による改造、調整、部品交換などがされている。
 - j. 指定外の者による修理、調整、部品交換などにより生じた故障。
 - k. 保証書の字句が書き換えられている。
 - l. 保証期間内においても、保証書のご提示が無い。
 - m. 取扱説明書における禁止/注意事項を行ったために起きた破損
 - 4 - 修理中の代替品や商品の貸出し等は、いかなる場合におきましても一切行っておりません。
 - 5 - 保証書に購買日付、購買店舗等の記入が無い場合は無効となります。記入できない時はお買い上げ年月日・店名が証明できる領収書等と一緒に保管して下さい。
 - 6 - 保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管して下さい。
-